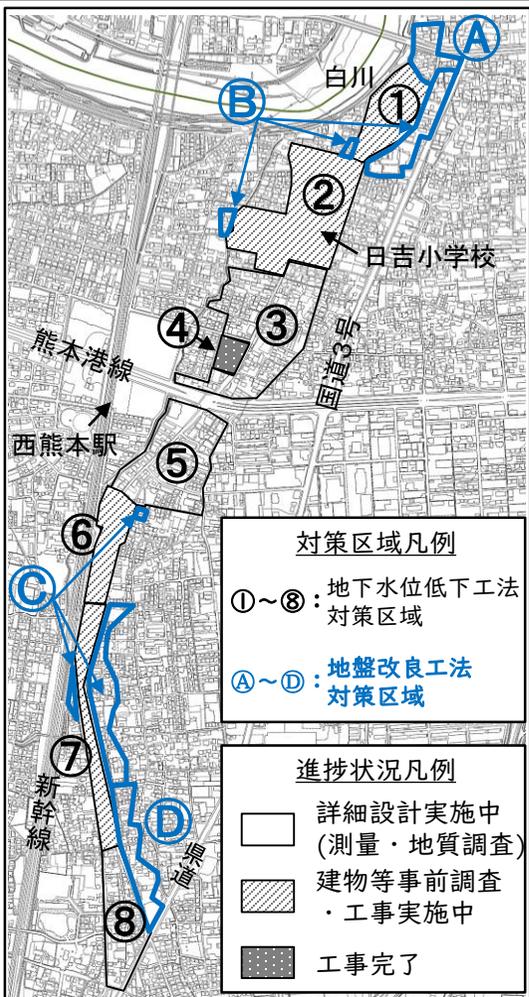


熊本市では、近見地区において「宅地液状化防止事業」を進めています。事業について広く市民の皆さまに知っていただくため、熊本市宅地液状化防止事業情報誌として「ちかみらい通信」を進捗にあわせて発行し、情報の共有に努めています。ちかみらい通信は、熊本市のホームページやLINEでも公開しています。パソコンやスマートフォンで是非ご覧ください!

二次元コード  
からHPをご覧ください



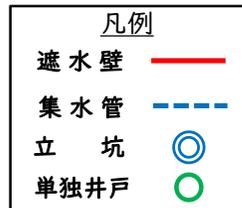
液状化対策区域の進捗状況

## 1. 地下水水位低下工法に伴う対策施設について

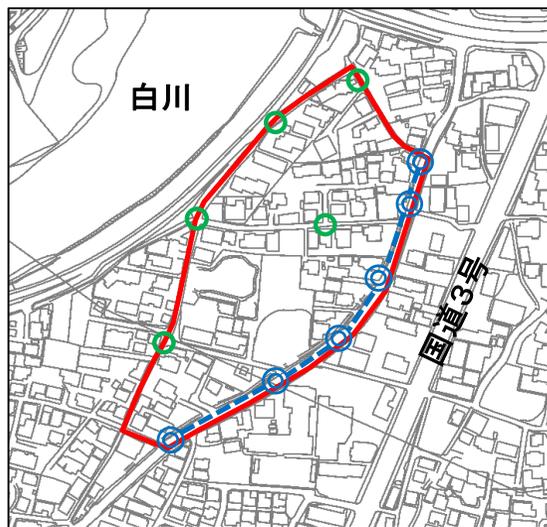
現在、①、②、⑥、⑦地区で実施中の工事は、地区内の地下水水位を地面から-3.0mまで下げるための対策施設設置工事です。設置する対策施設は、大きく分類すると以下の4つです。

- 1 遮水壁(しゃすいへき)・・・鋼矢板などで地中に壁をつくり、区域外からの地下水流入を抑えます。また、地下水水位低下による区域外への影響を抑えます。
- 2 集水管(しゅうすいかん)・・・有孔管(穴が開いた管)により、区域内の地下水を集めます。
- 3 立坑(たてこう)・・・集水管設置(推進工事)に必要なマンホールです。
- 4 単独井戸(たんどくいど)・・・集水管と併用して地下水を集めます。**※いずれも道路内に設置します。**

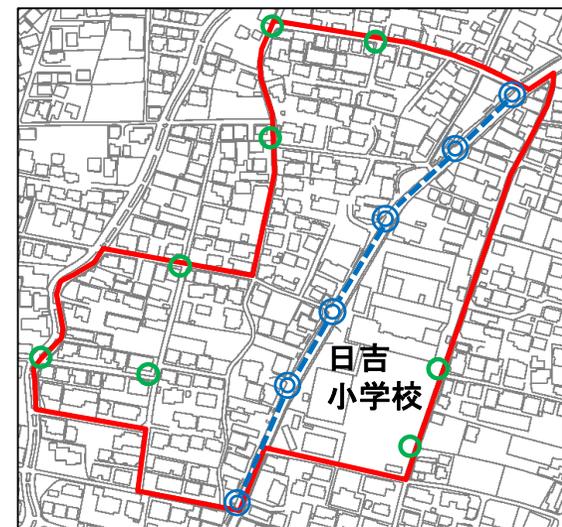
液状化被害の要因の一つは、地下水水位が高いことです。これらの施設を設置することにより、区域内の地下水水位を下げ、液状化被害を抑制、軽減させます。



※対策施設の詳細な設置場所は、現場状況などを考慮しながら確定させます。



①地区 対策施設設置計画図

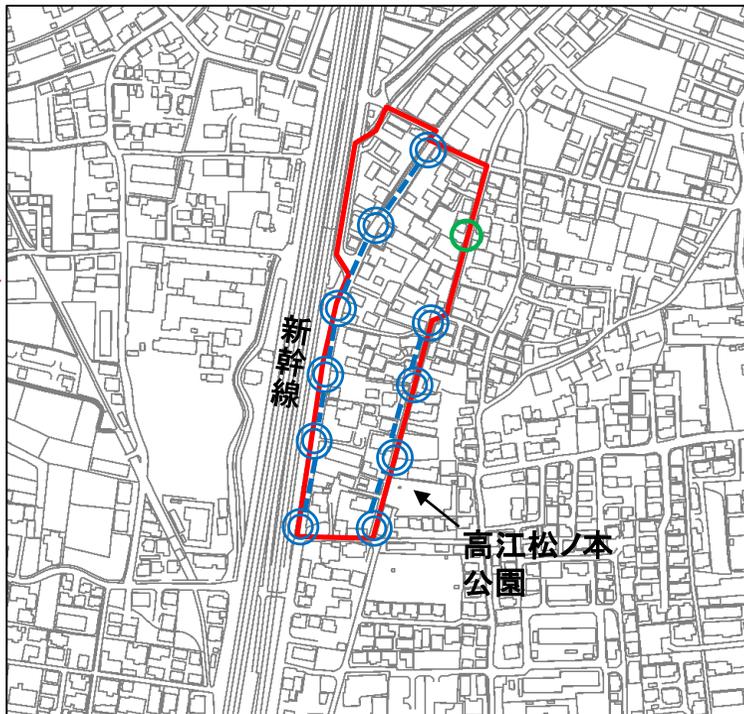


②地区 対策施設設置計画図

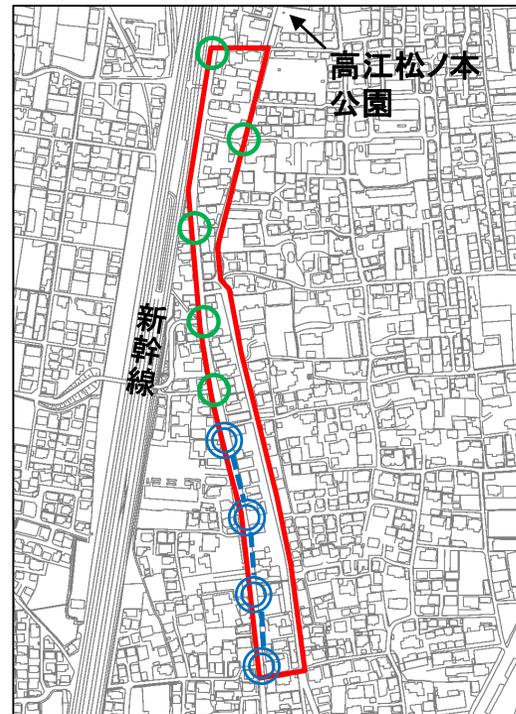
裏面にもお知らせがあります!

凡例	
遮水壁	— (赤い線)
集水管	- - - (青い線)
立坑	○ (青い)
単独井戸	○ (緑)

※対策施設の詳細な設置場所は、現場状況などを考慮しながら確定させます。



⑥地区 対策施設設置計画図



⑦地区 対策施設設置計画図

工事や調査等では、皆さまにご不便をおかけいたしますが、引き続きご理解、ご協力を頂きますようよろしくお願いいたします。

## 2. ちかみらい通信のLINE配信を始めました!

先月号より熊本市公式LINEからの発信を始めました。ぜひ、熊本市公式LINEの友だち登録をお願いいたします!

LINEアプリの「友だち追加」→「QRコード」で右の二次元コードを撮影し、ご登録ください。

※必ず「**日吉校区**」、「**力合校区**」、「**城南校区**」のいずれかを選択したうえでご登録ください。(校区を選択していない場合、情報は発信されませんのでご注意ください。) ご登録後、月1回の頻度で液状化対策に関する情報を発信いたします。

まずは友だち登録を!

